

# トンネル検査における剥落健全度の自動判定技術の開発

## 研究代表者:公益財団法人鉄道総合技術研究所 野城 一栄

### 研究期間:令和6~8年度

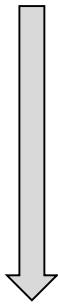
#### ○背景

インフラの老朽化が進行する一方、労働力人口は減少し、検査員の確保が難しくなっている  
⇒これまでの検査のやり方が限界を迎えるつつある

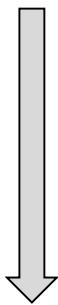
#### ○目的

トンネル検査について、デジタル技術を活用することで、検査精度を確保しつつ省力化する

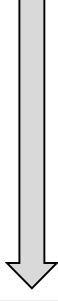
#### 変状展開図作成



#### 室内検査(室内目視)



#### 現地検査 ⇒打音



#### 打音判定 →健全度判定・記録

